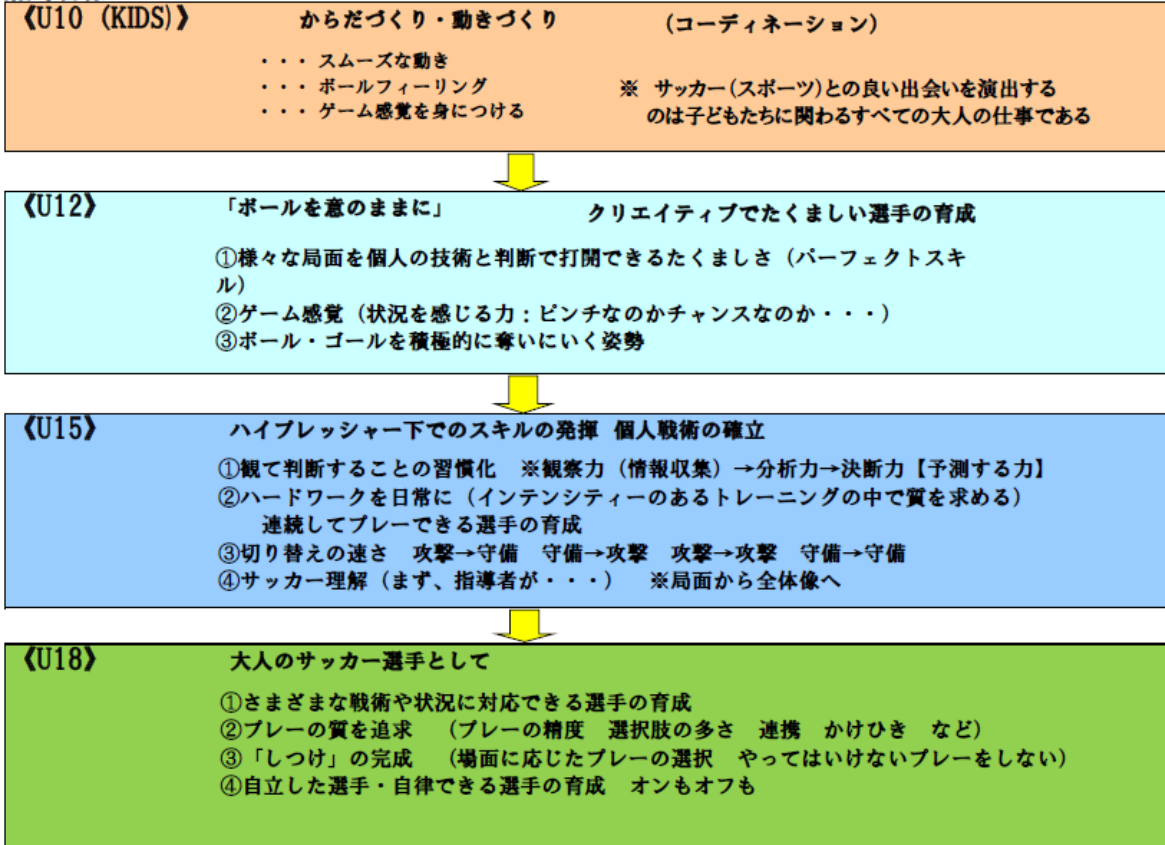


広島で・・・ ユース年代のサッカー経験を基に、よりレベルの高いゲームにチャレンジできる選手になろう。
生涯を通じサッカーにかかわり、サッカーのすばらしさを伝えられる人材になろう。
(指導者⇒選手・人材を育てよう)

サッカーを広島県民の生活の中に位置づかせると共に、広島にさらに幅広いスポーツ文化を根づかせよう。
(そのためにサッカースタジアムおよびフットボールセンターの建設を実現させよう。)

選手、指導者、審判、役員、ファン、仲間、家族とともに、サッカーを楽しみ、サッカーを伝え、サッカーを支えよう。
生涯サッカーを愛し、いつでも、どこでも、誰とでもサッカーにかかわり続けよう。

◇ユース育成指導目標



< 強化育成指導指針広島 >

<p>個人・・・ プロチームの要として活躍できる選手を育成する</p> <p>日本代表の中心となる選手を育てる。</p> <p>各ポジションの要となる選手を育てる。</p> <p>チーム・・・ 常に全国の上位を狙えるチームを目指す。</p>	}	<p>どの世界でも通用する大人を育成する。</p> <p>人間性についてはどのカテゴリーでも追及し続ける。</p> <p>ただし、発達段階と個人差を考慮して・・・</p>
--	---	---

広島ユース年代の選手をめざすべき方向 [よリクレバーによりタフに]

“攻守にわたって、かしく、ねばり強く、連続して活躍できるプレーヤー” (世界基準を日常に)

～ めざすは日本のあるべき姿 (Japan's Way) ～

- ・サッカー理解 (常にポジション修正するための個人戦術の獲得)
- ・テクニックの向上 (パスandコントロール ヘディング キックの種類 ボールを奪う技術 など)
- ・フィジカルの向上 (スピードも、当たりの強さも、しなやかさも... 相手がいやがるプレーヤーに)
- ・メンタルコントロール (リスペクト・フェアプレーの正しい理解→勝利するためにサッカーに全力を尽くす)

※ サッカーを学び続けましょう サッカーを楽しみ続けましょう

グッドコーチに向けた「7つの提言」

新しい時代にふさわしいコーチングの確立に向けて

- 1 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くしましょう。
- 2 自らの「人間力」を高めましょう。
- 3 常に学び続けましょう。
- 4 プレーヤーのことを最優先に考えましょう。
- 5 自立したプレーヤーを育てましょう。
- 6 社会に開かれたコーチングに努めましょう。
- 7 コーチの社会的信頼を高めましょう。

平成27年3月13日
コーチング推進コンソーシアム

グッドコーチに向けた「7つの提言」

スポーツに関わる全ての人々が、「7つの提言」を参考にし、新しい時代にふさわしい、正しいコーチングを実現することを期待します。

1 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くしましょう。

暴力やハラスメントを行使するコーチングからは、グッドプレーヤーは決して生まれないことを深く自覚するとともに、コーチング技術やスポーツ医・科学に立脚したスポーツ指導を実践することを決意し、スポーツの現場における暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くすことが必要です。

2 自らの「人間力」を高めましょう。

コーチングが社会的活動であることを常に自覚し、自己をコントロールしながらプレーヤーの成長をサポートするため、グッドコーチに求められるリーダーシップ、コミュニケーションスキル、論理的思考力、規範意識、忍耐力、克己心等の「人間力」を高めることが必要です。

3 常に学び続けましょう。

自らの経験だけに基づいたコーチングから脱却し、国内外のスポーツを取り巻く環境に対応した効果的なコーチングを実践するため、最新の指導内容や指導法の習得に努め、競技横断的な知識・技能や、例えば、国際コーチング・エクセレンス評議会(ICCE)等におけるコーチングの国際的な情報を収集し、常に学び続けることが必要です。

4 プレーヤーのことを最優先に考えましょう。

プレーヤーの人格及びニーズや資質を尊重し、相互の信頼関係を築き、常に効果的なコミュニケーションにより、スポーツの価値や目的、トレーニング効果等についての共通認識の下、公平なコーチングを行うことが必要です。

5 自立したプレーヤーを育てましょう。

スポーツは、プレーヤーが年齢、性別、障害の有無に関わらず、その適性及び健康状態に応じて、安全に自主的かつ自律的に実践するものであることを自覚し、自ら考え、自ら工夫する、自立したプレーヤーとして育成することが必要です。

6 社会に開かれたコーチングに努めましょう。

コーチング環境を改善・充実するため、プレーヤーを取り巻くコーチ、家族、マネジャー、トレーナー、医師、教員等の様々な関係者(アントラージュ)と課題を共有し、社会に開かれたコーチングを行うことが必要です。

7 コーチの社会的信頼を高めましょう。

新しい時代にふさわしい、正しいコーチングを実践することを通して、スポーツそのものの価値やインテグリティ(高潔性)を高めるとともに、スポーツを通じて社会に貢献する人材を継続して育成・輩出することにより、コーチの社会的な信頼を高めることが必要です。



観戦マナー

Respect

RESPECT F.C. JAPAN



Break
through!!!

サッカー仲間を大切にしよう!

誰もが安心・安全に心からサッカー、スポーツを楽しむために

サッカーに 暴力も暴言も いらない!



自分を成長させてくれた、大好きなサッカーだから
誰にもきらいになってほしくない!



公益財団法人 日本サッカー協会

指導者が選手を引率する際の留意事項

- 選手個々の権利、尊厳及び価値を尊重し、平等に取り扱うこと。
- 選手の福利及び安全を最優先で扱うこと。
- 身体に対する暴力行為を行わないこと
- 不適切な言葉を使用しないこと
- 身体に対する暴力行為や不適切な言葉の使用を放置しないこと。

※上記事項に反する行為が行われた場合は、当該チーム・指導者・選手等に対し、大会役員(ウェルフェアオフィサー)により事情聴取が行われる場合がある。